



(平成24年10月1日発行) 第38号
 発行：福島県鮫川水系ダム管理事務所
 福島県いわき市東田町1丁目26-1
 ☎0246-63-2155 📠0246-63-1666
 ✉samegawa.damu@pref.fukushima.lg.jp
 📞ダム情報テレホンサービス 0246-77-3077



ダムの放水による増水にご注意下さい。
この川の上流1キロメートルに高柴ダムがあります。ときどきダムに貯まった水を流すため、この川の水が急に増えることがありますから注意して下さい。また、ダムに貯まった水を流すときには、下記のとおりサイレンやスピーカーで知らせますので、そのときは、危険ですから河原に降りないで下さい。

サイレンの吹鳴間隔と合計時間

吹鳴	休	吹鳴	休	吹鳴	休	吹鳴	休	吹鳴
60秒	10秒	60秒	10秒	60秒	10秒	60秒	10秒	60秒
5分40秒								

ダムからの放流について

サイレンが聞こえたら川に近づかないでください。

ダムの目的のひとつに洪水調節(治水)があります。

少量の降雨によるダムへの流入量の増加時には、下流への影響が少ないことから、流入量=放流量で管理を行っていますが、ひとたび降雨によりダムへの流入量が一定量を超えた場合には下流への影響を最小限にとどめる為、各々のダムに制定されている操作規則・細則に沿って下流への放流を行っています。

最近の降雨の傾向は、ゲリラ豪雨と表現されたように、スポット的に短時間で集中豪雨となり急激に河川水位が上昇し平常時には水を被っていない場所も、短時間で冠水します。鮫川本川では大谷河原(いわき市山田町)、四時川では国道289号線の四時大橋の下にある河川敷(いわき市川部町)等です。

このようなことから、一定量以上の放流^(※1)をする場合は**放流開始30分前までに、河川に設置してある警報局から音声による放流開始のお知らせとサイレンによる周知**を行っています。

また、当事務所ではパトロール車による広報も併せて行っています。サイレンを聞いたら速やかに河川から退避して下さい。



※1 ダムからの放流に際し、広報を行う基準があります。

昼夜で基準が違います。

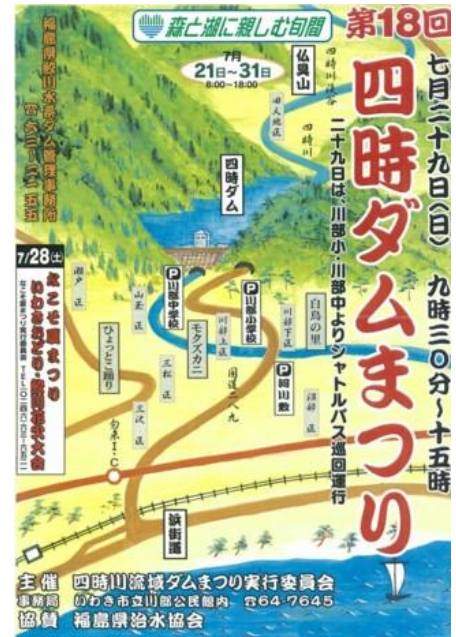
下表放流量以上放流する場合にサイレン等で周知しています。

放流に関する広報を行う基準	天 候	放 流 の 時 間	放 流 量
高柴ダムからの放流	連続降雨のない場合	昼間(日出1時間前から日没1時間後まで)	10m ³ /s 以上
		夜間(上記以外)	30m ³ /s 以上
	連続降雨のある場合	昼間(日出1時間前から日没1時間後まで)	30m ³ /s 以上
		夜間(上記以外)	50m ³ /s 以上
四時ダムからの放流	連続降雨のない場合	昼間(日出1時間前から日没1時間後まで)	5m ³ /s 以上
		夜間(上記以外)	15m ³ /s 以上
	連続降雨のある場合	昼間(日出1時間前から日没1時間後まで)	15m ³ /s 以上
		夜間(上記以外)	20m ³ /s 以上

好天に恵まれ大盛況！！

昨年は、東日本大震災と福島第一原発の放射能漏れ事故により、規模を縮小し、地元の地域興し団体主催による「がんばっぺ in しとき」を開催しましたが、震災から一年余が過ぎ、放射能の影響も一定程度の落ち着きを見せたことから、2年ぶりに実行委員会主催による「四時ダムまつり」を開催しました。

開催日となった7月最終日曜日の29日は、今年の猛暑続きの天候の例外に漏れず、朝から太陽がジリジリと照りつける暑い一日となったにもかかわらず、沢山の方々があつりを楽しんでいかれました。



主ゲート室を展示室として開放し、関連団体や地元小中学校生徒の作品を展示



高校生によるフラガール



木工作品制作体験
「磐城森林管理署」



主堤体への出店



今年も一番人気は、「お楽しみ抽選会」